

報 所

◆在外職員の動き

出 発

氏 名	派遣地	課 題 名	出発月日
田部 昇	パ リ	技術格差の要因とその対策に関する研究	4月8日

帰 国

氏 名	派遣地	課 題 名	帰国月日
向阪 浩	ブエノスアイレス	アルゼンチン経済の現況分析および経済計画の推進	4月11日

◆外国人の来訪

(1) 4月7日, Mr. Manuel P. Manahan (President, Philippine Rural Reconstruction Movement) がフィリピンの農業開発問題について懇談のため来所。

(2) 4月16日, Mr. Kurien (Professor, University of Madras) が, 研究交流について意見交換のため来所。

(3) 4月24日, Mr. Pallerstedt (ドイツ経済援助省) が, 日本における民間経済協力の実情について意見交換のため来所。

(4) 4月25日, Mr. G. C. Mandel (Director, Agro-Economic Research Center, Visva-Bharati University, Santiniketan, West Bengal, India) が, 当研究所の活動状況を聴取するため来所。

(5) 4月28日, Mr. L. B. Rajakaruna (Director, Department of Census and Statistics, Colombo, Ceylon) が, 日本の統計活動視察研究の目的で来日し, 当研究所において, それに関する意見交換のため来所。

『アジア経済』次号予告

次号は通巻第100号を記念して, 特集「日本におけるアジア, アフリカ, ラテン・アメリカ研究の現状と問題点」を発行します。また『アジア経済』総目次を別冊付録といたします。

この号は6・7月合併号で, 定価は別冊付録とも600円です。

アジア経済研究所刊行

中国甘蔗糖業の展開

戴 国 輝著

211頁 辛 800

▷あいさつ▷序論▷甘蔗の品種と甘蔗作の地域的展開  
 /甘蔗の早期的存在を伝える諸文献▷南北朝中期から  
 唐代にいたる甘蔗作▷宋元兩代における甘蔗作の商品  
 生産的展開▷明代の甘蔗作▷甘蔗栽培の技術的展開/  
 『糖霜譜』に見られる北宋末から南宋の甘蔗栽培法/  
 『農桑輯要』に見られる元代の甘蔗栽培法▷明代の甘蔗  
 栽培法▷甘蔗糖製造の技術的展開▷甘蔗糖分の利用形  
 態と変遷とその名称の変化▷製糖技術の史的発展▷台  
 湾における旧式糖業の発展▷甘蔗の台湾伝播▷明末清  
 初の台湾糖業▷結び▷付録 関係文献解題▷あとがき  
 ▷人名・地名索引▷事項・書名索引

アジア経済出版会発売